

第50回関東幾代ヶ丘同窓会総会

10月4日（土）ザ・プリンスパークタワー東京にて第50回関東幾代ヶ丘同窓会総会が行われました。山崎淳一幾代ヶ丘同窓会会長、高瀬英人同副会長、三和聖徳校長、平川淳一郎先生、柿崎友華先生、川口智が参加しました。今年は15名の新卒者とR6卒業の小野美南さんが参加してくれました。50回を記念して本校OG隠岐彩夏さん(H15卒)の記念コンサートも行われました。全体の参加者は98名で大盛会でした。



左から 西崎修治関東幾代ヶ丘同窓会会長
隠岐彩夏さん 山崎淳一会長 三和聖徳校長



↓新卒者紹介





新卒者代表あいさつ



同窓会
隠岐さん招き
50回目の総会

関東幾代ヶ丘同窓会
首都圏在住の五所川原高校の卒業生でつくる関東幾代ヶ丘同窓会は4日、東京都港区のザ・プリンスパークタワー東京で総会と懇親会を開いた。50回目の節目を祝い、同校OGの世界の

跡の周囲は水が湧き、動物が集まりやすい環境で石器の材料もあった。当時としては「平地」だったのではないかと話した。

これまでの調査では、先端をとがらせた尖頭器などが出土。中国など東アジアの中期旧石器時代の「鋸歯縁石器群」の石器と特徴が似ており、縁のこぎりの歯のように加工されていた。地層に含まれる炭化物の放射性炭素年代測定で、4万2300年前と年代を特定した。

00年に発見した旧石器捏造事件以後、国内では静岡県沼津市の井出丸山遺跡などで見つかった、後期旧石器時代の約3万7千年前の石器が確実な最古とされてきた。

ソプラノ歌手・隠岐彩さんの記念コンサートを開いたほか、15人の新卒者を招き、郷土の話題や近況を報告し合い交流を深めた。

記念コンサートでは「青い海と森の音楽祭」（東奥日報社などで行う実行委員会主催）の音楽主幹も務めている隠岐さんが「待ちぼうけ」など3曲を披露した後、アンコールで同校OBの父の話題に触れ、プッチーニの「私のお父さん」を熱唱。見事な歌声に拍手が鳴りやまなかった。

総会では、3議案が承認され、懇親会では西崎修治

八戸 伊藤 忠美さん(82) 八幡盆音喜多子さん(97) 小中野沼 洋子さん(92) 新井田 十和田 光枝さん(96) 西六条

会長が「昭和50年の発足以来、50回目の節目は会員と皆さまのご支援のたまもの」とあいさつ。地元から駆け付けた山崎淳一 本部同窓会長の祝辞の後、三和聖徳校長が文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSHS)に昨年度指定されたことや、来年度から新制服を採用すること、進学実績、競技かるた大会など文武両道で活躍している近況を報告した。

今春卒業した15人は出身中学や部活の活躍などを紹介され、会員も自分の後輩だと話題に花が咲き、大いに盛り上がった。

最後は吉幾三さんの「立役武多」を合唱し、再会を誓った。

隠岐さん(左から2人目)を囲む西崎会長(左)、山崎本部同窓会長(左から3人目)と三和校長(鎌田伸寿)